

地域公共交通活性化・再生総合事業(調査事業) : 島根県江津市

概 要

江津市の人口は約2万8千人で、平成16年10月に1市1町による合併(桜江町を編入)を行った。日本海の海岸線に沿った地域に人口が集積し、総合病院や商業施設等の都市機能が集まっている反面、旧桜江町を中心に南部の中山間地域では過疎高齢化が進行し、公共交通の空白地区も見受けられる。このようなバス利用不便地区や高齢集落の生活交通を確保するとともに、旧江津市を中心とする4条バス、旧桜江町を中心とする生活バス等の効率的な運行に向けた方策を総合的に検討する。

○地域公共交通の概要

- ・石見交通(株)4条路線(6路線) ・生活路線代替バス(跡市～井沢峠)
- ・生活バス(桜江地域7路線) ・桜江中スクールバス(混乗)
- ・専用スクールバス(小中学校) ・JR山陰本線、JR三江線(三次～江津)

○地域公共交通の課題

- ・石見交通(株)4条路線バスの利用促進と効率的な運行
- ・公共交通空白地区の解消と高齢集落の生活交通の確保
- ・既存地域内公共交通の効率化

○調査事業の主な内容

- ・現況交通実態の調査
- ・利用者ニーズの把握(住民・高校生アンケート調査、ヒアリング調査等)
- ・4条路線バス、地域内公共交通の効率化策の検討

○策定する地域公共交通総合連携計画の構想 (予定)

- ・利便性と効率化を考慮した広域路線運行計画の検討
- ・公共交通空白地区の解消に向けた地域内路線の戦略プロジェクト検討(デマンド型交通システムの導入)
- ・わかりやすい公共交通情報の提供と交通結節点充実化の検討
- ・利用促進策(MMの推進・高校生の利用)及び地域との連携方策の検討
- ・JR三江線の活性化の検討

